

TOKAI KAGU クラシックコレクション

KENT HOUSE



TOKAI KAGU がクラシックコレクションとして発表した、ケントハウスシリーズは、18世紀半ばの英国王ジョージ3世の頃のチップendale様式をモチーフに、19世紀以降、ロンドン周辺のイギリス庶民住宅へと広がった、極度な装飾を廃したブリティッシュユカントリー家具の使いやすさを取り入れた、カジュアルでありながら、シックで落ち着いたクラシックインテリアを、お求めやすいプライスでコーディネートできるようにアイテムを揃えたトータルコーディネートシリーズです。ちなみにケントとはロンドンより南西 51 キロほどにある、メードストーン州の州都の名前です。

☆その特徴とは

ケントハウスの主材料はインドネシアで計画的に植林され、伐採したマホガニー材です。大航海時代より、固くきめ細かいマホガニー材は船舶やドアなど高級材として使われてきました。このシリーズの特徴はマホガニー材の素材感を活かし、木質感を失わせない

セミオープン塗装を採用しており、その仕上がり色は極度な暗さを抑えたダークカラーなので、日本の部屋にも違和感なく、それでいて落ち着いた、シックなイメージのコーディネートができます。

端正なリブ・化粧張り

ソファ・ダイニングチェアの子やキャビネットの扉の表面などには彫刻で仕上げたリブ（浮き上がる彫刻）が施されています。あくまでシンプルに、大げさにならないようにしたこの木製の模様は、さりげないデザインポイントとなっています。また、天板の中心を囲むように施された突板の化粧貼りが優美さを表現しています。また、ガラスキャビネットに使われている木格子はチップペンデル様式の頃の、中国建築に影響を受けた形が取り入れられています。



カブリオレッグ（猫足）

ソファやダイニングテーブル・デスク・TELスタンドCなどの脚部には、滑らかな曲線と繊細なラインでやさしさを醸し出す、カブリオレッグ（猫足）を使い、クラシカルな雰囲気とともに、しなやかさを表現しています。

